

第5回 部会検討結果報告書（健康・福祉部会）

記録者	保坂 将太	場所	市役所北庁舎第1・2・3会議室		
開催日時・場所	平成28年9月24日（土） 午前10時00分 ～ 12時				
出席者 （名）	大島 雅章	糟谷 知香子	小出 由美子	宮崎 一司	
	宮原 亮	宮前 祐子	高畑 翔吾	竹内 遼	
	保坂 将太				
傍聴者	0名				

基本施策名	生活の安定の確保
--------------	----------

■今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

<ul style="list-style-type: none"> ・若者の生活保護受給に対するサポート体制 	
--	--

■後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

【低所得者の自立支援】

- ・子供の学習支援事業
- ・子供の高校・大学進学率について
- ・義務教育の底上げ（0～6歳の充実した教育が将来の年収に繋がるデータがある）
- ・就労支援事業の充実
- ・引きこもりや就労困難者への専門的な心のサポート体制の充実（意欲・意識作り）
- ・民生委員・児童委員研修事業
- ・生活保護にさせない取組み及び背景の原因追究
- ・増加した理由と数値を明らかにする
- ・「その他世帯」の分析をして適切な支援

■協働の実践に向けて（オ）について

【低所得者の自立支援】

- ・子供の学習支援を18歳まで検討
- ・市民講師の充実を図り、学習支援に協力してもらう。
- ・子供学習支援として、生徒を募るだけでなく、先生を派遣する。
※学生に家庭教師的なサポートを協力してもらう。
- ・支援者の養成・育成
- ・個々の精神状況に応じた就労支援
- ・市の仕事を提供する（公園清掃やプール清掃など）

第5回 部会検討結果報告書（健康・福祉部会）

記録者	竹内 遼	場所	市役所北庁舎第1・2・3会議室		
開催日時・場所	平成28年9月24日(土) 午前10時00分 ~ 12時				
出席者 (9名)	大島 雅章	糟谷 知香子	小出 由美子	宮崎 一司	
	宮原 亮	宮前 祐子	高畑 翔吾	竹内 遼	
	保坂 将太				
傍聴者	0名				

基本施策名	地域福祉活動の支援
--------------	------------------

今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

予想される新たなニーズ

- ・相談を受けた相談員が相談内容の完結まで見守るような体制の整備と、相談員の養成が必要。
- ・市と社会福祉協議会が協力し、ホームページ等でわかりやすくボランティア募集をかけるべき。

市民の目から見た課題

- ・民生委員や福祉関係の相談員の地区割りが個々に分かれているため、相談先などがわかりづらい。
- ・寄付金の使途がわかりづらい。

その他のご意見

- ・広報ふちゅうのページ数を増やしてもっと様々な情報を出した方が良い。

後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

【支えあいのまちづくりの促進】

- ・地域の事に無関心な人が多いので、福祉意識の向上。
- ・自治会があまり地区社協に参加していない。
- ・民生委員の決め方の再検討
- ・相談員の年齢層に偏りがあると意見も偏るので、広い年代の相談員がいると良い。
- ・災害福祉支援制度の検討

【福祉のまちづくりの推進】

- ・福祉人材の確保

協働の実践に向けて（オ）について

【支えあいのまちづくりの促進】

- ・男性参加型のボランティア活動を推進する。
- ・インターネットを活用し、ボランティアへ参加しやすいよう環境整備。
- ・ボランティアをポイント制にする（付加価値をつける）。
- ・気軽に意見を集められるようなインターネットを活用したような仕組みをつくる。
- ・地区社協、市職員も参加し、協働を進める。
- ・災害福祉支援チームを作り、平時から訓練を実施する。

【福祉のまちづくりの推進】

- ・介護福祉養成施設に在学する学生に対する資金援助。
- ・カフェなどでの福祉活動の広報をし、若年層へ周知をする。